

令和4年度 第3回 篠原小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年10月19日（水） 10時00分から11時40分まで
- 2 開催場所 篠原小学校 会議室
- 3 出席委員 鈴木 直樹、脇本 和義、小楠 倫嗣、鈴木 好治、辻村 栄子、石津 正貴、横井 詠子、横井 秀輔、野寄 佐衣子
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 結城 知則（校長）、土屋 憲司（教頭）、中村 敦（主幹）  
井内 早穂里（CS担当教職員）、中島 和美（CSディレクター）
- 6 教育委員会 小川 誠司（浜松市教育委員会教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項  
（1）学校評価項目について  
（2）にこにこ音楽集会について  
（3）学校支援活動について
- 9 会議録作成者 CSディレクター 中島 和美
- 10 会議記録

司会から、委員総数9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）議長の選出について

司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、協議の中で会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

（2）学校評価項目について

授業参観の後、学校評価項目について協議が行われた。

議長の提案により3つのグループに分かれて協議し、各グループより以下のような感想、意見があった。

グループ①（直樹委員・小楠委員・辻村委員）

- ・ 学校評価項目について：「友達と協力する」のは大事だが授業が遅れないか。
- ・ 「授業は楽しい」だけでなく、「達成感」を加えてもいいのでは。
- ・ 評価はいくつに分かれているのか。  
→ 4段階（とてもそう思う・そう思う・そう思わない・全く思わない）になる。（敦）
- ・ タブレット学習について、1年生から取り組むのは積み重ねになり、力が身に付きやすく良いと思う。しかし先生方の負担も大きいと思う。先生の指導力も大事にしてほしい。
- ・ 外でとても元気よく遊んでいるのを見た。とても大事な事だと思う。

グループ②（好治委員・石津委員・野寄委員）

- ・ 理科の教室外での授業では、実際に体験をすることで楽しんで学んでいる様子が見られた。

- ・ タブレットを使った授業では、使い方が分からない子には分かる子が教えていた。授業の進みは遅くなるかもしれないが、教え合うというのはいい。
- ・ デジタルだけでなく、実体験も大切にしてほしい。
- ・ タブレットでの宿題では、親が宿題に目を通す前に送信されてしまうと宿題の様子が分からない。

#### グループ③（協本委員・詠子委員・秀輔委員）

- ・ 学校評価アンケートの項目について、児童対象の評価項目は具体的で答えやすそうだ。
- ・ 全学年同じ内容（表現）なのか。学年で捉え方が違ってくるのでは？  
→ 全学年同じ表現になるが、教員が学年にあった説明の仕方をしていく。（敦）
- ・ 保護者対象の評価項目について  
「子どもは、授業のめあてを意識して、学習に取り組んでいる。」等、保護者には見えない部分があるのではないか。アンケートのタイミングをずらして、児童のアンケート結果が出た後に、それを踏まえて保護者が答えるという方法はどうか。
- ・ 教職員対象の評価項目について  
教職員本人の主観になるので正しい評価になるのか。客観性のある項目の方がいいのでは。自己評価が厳しい、甘いで評価が変わってくるのでは。「・・・子に育っている」など、全て子どもにつなげなくてもいいのでは。教職員の評価項目も保護者と同じでいいのではという意見もあり、教職員は「自分の子」でなくクラス全体のことを考えて答えるので保護者と同じ項目は難しいのでは、という意見もある。  
→ 今回の意見を参考に、もしも評価項目が変更になるようであれば委員に連絡、確認をするが、今年度のアンケート結果を踏まえ来年度の参考にしてもいい。（直樹委員）

#### （3）にこにこ音楽集会について

コロナの状況下、歌を歌うという活動については配慮が必要な中、学び合いと安全面を第一に考え、2学年ずつ（1・6年、2・4年、3・5年）、体育館で距離を取りながら行う予定。物理的に保護者の参観が難しい状況になるので今年度も録画で配信する予定である。また、今年度は練習風景も配信していきたいと思っている。（校長）

→ 状況を見ながら学校の判断で安全な方法で開催してほしい。（直樹委員）

#### （4）学校支援活動について

2学期に、図工の糸のこを扱う授業、家庭科のミシンを扱う授業にボランティアの方に参加してもらったが、参加者からは楽しかったという意見も出ており、少しずつでも支援の輪が広がっているのではと思う。3学期には昔の遊び体験も予定しているが、他にボランティアが必要だと思う授業があれば意見をいただきたい。試行錯誤しながら1、2年で支援の仕組みを立ち上げていければと思っている。（石津委員）

- ・ タブレットを使う授業（教え合うのも大切だが、大人がいると助かるのでは）
- ・ 図工（追いついていけない子がいるようだ）（野寄委員）
- ・ 外国人児童につく通訳の方がいてくれると助かるのでは。（好治委員）

- ・ボランティアは学校でも必要な活動であるが、参加してくれた方も楽しいと思ってもらえるような、お互いに利点のある関係が築けたらと思っている。(校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

#### その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和5年2月21日(火)午前10時00分から会議室で開催する旨の報告があった。また、次回会議の議長の選出について委員に意見を求めたところ、協議の中で会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。